

9 丁 目 の 仲 間

発行元 社会福祉法人東京援護協会 大泉障害者支援ホーム

連絡先 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町9-4-2

電 話 03-3978-5581(代) 03-3978-5595(入所直通)

ホームページ <http://www.tokyoengokyokai.or.jp/13oizumi/>



施設長 森永桂子

日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆様お変わりありませんか。昨年9月に完成した新しい建物に引っ越して、早いもので1年が経ちました。視覚障害のある入所利用者さんが、新しい建物に慣れるのか、頭をあちこちにぶつけて怪我をさせてしまうのではとても心配しましたが、工夫を凝らした設計と職員による綿密な支援体制の構築により、入所利用者みなさんが建物に馴染むのも早かったように思います。

また、地域交流スペースの「Café vivo tree」は、地域の方の居場所の一つとして認知されるようになってきました。季節の生果物ジュースや地域の福祉施設とコラボしたお菓子等の自主生産の販売も好評です。特に建て替えをきっかけに始めた水耕栽培レタスは、地域の皆さんが施設にわざわざ買いに来てくださるほど好評です。11月5日には、都立大泉中央公園の所長さんからのお計らいで、「3公園をめぐるキッズチャレンジ」というイベントに、水耕栽培レタスの販売でお邪魔させていただく事になっています。その他、自衛隊朝霞駐屯地でも水耕栽培レタスの販売チラシを置いて下さったり、地域の喫茶店のサンドイッチメニューで使っていただいたりしています。そして水耕栽培レタスの生産と販売に従事している通所利用者さんへ地域の皆様から「ありがとう」「頑張ってるね」等とお声がけいただき、それが通所利用者さんの作業意欲に繋がっています。建て替え後から始めた新たな支援を通して、我々職員は、人と人が「繋がる」支援の大切さを改めて感じているところです。

深まりゆく秋の紅葉、「Café vivo tree」のテラス席から感じていただけたら幸いです。

ぜひ、お立ち寄りください。

～入所～

イベント紹介

第2回 九丁目スポーツ大会

新種目・50メートル走



人気種目・ボール投げ



お楽しみ！おやつは
Haagen-Dazs



6月5日(日)にコロナ禍の間隙について大泉ガーデンで施設内スポーツ大会を実施しました。参加者36名！皆さまの活躍ぶりをお伝えします！！

大会ポスターより



～通所～

行事報告

日帰り旅行

7月15日、コロナ禍に入ってから行けなくなった宿泊旅行に代わって、日帰り旅行に出かけてきました！場所は“東京スカイツリー”と“すみだ水族館”。
久しぶりの、みんなで外出。沢山楽しんでできました！



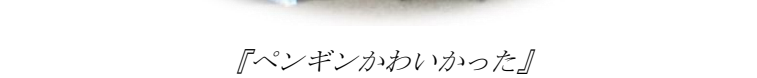
『スカイツリーは雲が見られて面白かった』



『お土産を買って楽しかった』



『スカイツリー
とても高かった』



『ペンギンかわいかった』



『お昼ご飯美味しかった』



『スカイツリー高くてちょっと怖かった』



『スカイツリーのエレベーターが楽しかった』



『スカイツリー遠くから見たことはあったけど展望台の中に入ったのは初めて』



活動紹介

リフレッシュ活動 『TAIKO レッスン』

利用者から和太鼓に挑戦してみたいとの思いを受け、今年度からリフレッシュ活動に取り入れました。実際に和太鼓に触れ緊張感ありながらも楽しんでいます。

『太鼓うボねりま』の先生との出会いは、令和3年の10月に宿泊代替行事・新設引越し記念イベントで来て頂いた時でした。



2カ月に一回、その日を皆さん楽しみにされ、沢山汗をかき全身でリズムを感じ、終わった後は誰もが爽やかな表情です。

～地域のオアシス～

Café vivo tree
カフェ ビーボ ツリー



人気商品を紹介します！



珈琲・カプチーノ



フルーツティー・フルーツソーダ*



柿ジュース



ガツンとした飲み口に後から来る甘みと香ばしさが特徴の大人の珈琲です。



ブルーベリーにやや酸味のあるラズベリー、ストロベリーと甘いマンゴ、パイナップルが入っています。



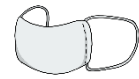
今が旬の柿をふんだんに使ったフレッシュジュースです。

〈営業日：毎週 水・金曜日 11:00～15:30〉

女性の時代！ホームを支える
ニューリーダー達！



8月コロナ最前線より



— 人事紹介 —



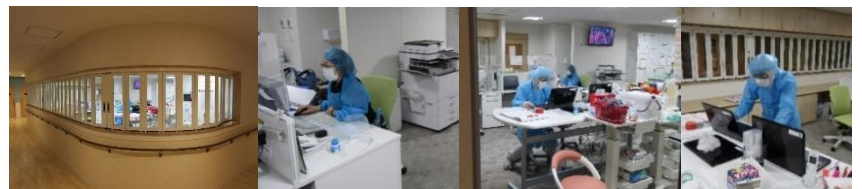
生活支援係係長
大津 律子
令和4年 10月昇任



生活支援係主任
東野 富子
令和4年 10月昇任



管理係主任
木村 光世
令和4年 4月昇任



早いもので新設に移行して1年が経ちました。利用者の皆さまもすっかり新しいホームになじんで日々お過ごしですが、振り返ると先の見えないコロナとの闘いに明け暮れた一年でもありました。ここで感謝の気持ちを伝えたいのが、命の守り手として感染防止のために指揮をとられた看護師さんたちです。粘り強い声掛けによりおかげさまでクラスターも最小限で抑えることが出来ました。

あらためて命を守る使命感に触発された一年でもありました。

編集後記

今後も、大泉障害者支援ホームに関する情報を提供してまいりますので、ご意見、ご感想がございましたら、ホームまでご連絡ください。次回の「9丁目の仲間」は令和5年2月発行予定です。また、今回写真掲載するにあたり、皆様からの同意を得て発行しています。

広報誌担当 當山、藤井、古川